

Bunkamura 30周年記念セルリアンタワー能楽堂

新編 江戸恋心 第五夜

SHIBUYA



テーマ：恋愛

井筒

2019/9/6 (金)

18:30 開場 / 19:00 開演

渋谷能楽堂

Bunkamura 30周年記念 セルリアンタワー能楽堂

国内外から日本文化に注目が集まる昨今、
普段なかなか接することのない日本の伝統文化であり、そしてユネスコの無形文化遺産にも登録されている「能楽」を、
渋谷という最先端の地にある能楽堂で、次世代を担う花形能楽師たちが魅せます。
観世、宝生、金春、金剛、喜多の五流が、流儀の垣根を超えて勢揃いするのも滅多にない取り組みとなっています。
演者だけでなく、次世代のお客さまにも能楽ファンとなっていだくべく、
現代のころにも通じるテーマ設定や、能楽師たちとの交流などとともに年間を通して能に親しんでいただける公演です。
開催は、週末金曜日の夜。テーマに基づいた能の人気作品を、事前解説とともに鑑賞した後は、
能楽堂に隣接する老舗料亭「金田中」の軽食やお酒を楽しみながら、能楽師と交流し、伝統文化のリアルなつながりを体感できます。

第五夜 9/6(金) 18:30開場 / 19:00開演 テーマ：恋愛

井筒 (観世流)

ある秋の日。旅の僧が大和の国の石上の里にある、在原業平ゆかりの在原寺へ立ち寄ったときのこと、境内の片隅にある塚へ花水を手向けていた里の女に出会います。女はこれこそが在原業平の墓であると僧に伝え、かの業平とその妻である紀有常の娘の恋物語を語ります。幼いころ、隣同士に住んでいたふたりは、井戸の水に互いの姿を映して背比べをしていた幼馴染。やがて成長し恋の歌を詠み交わし結ばれますが、移り気だった業平は、他の女のもとへ通います。それでも、有常の娘はただひたすら夫の無事を祈って待ちました。それを知った業平は心を改め、妻のもとへ戻ったのでした。そんな故事を語った女は、自分こそが紀有常の娘だと告げ、井戸の陰へ姿を消します。その夜、僧が仮寝をしていると、月に照らされた古寺の片隅にひとりの女の影が浮かび上がります。それは、業平の装束を身につけた紀有常の娘の霊。幼馴染を慕い、夫を愛し、魂となってもなお、恋しい業平の形見の装束をまとうて舞う彼女は、井戸の水面に映った自分の姿に、愛しい人の面影を見るのでした。東の空が白んでくる頃、その姿は消えてゆき、僧もまた夢から覚めるのでした。

解説：金子 直樹

前シテ / 里の女： 鞆澤 光
後シテ / 紀有常の娘の霊：
ワキ / 旅僧： 宝生 欣哉
アイ / 里人： 能村 晶人

笛： 竹市 学
小鼓： 吉阪 一郎
大鼓： 亀井 忠雄
後見： 観世鏡之丞・鞆澤 久
地謡： 片山九郎右衛門・清水 寛二・西村 高夫
安藤 貴康・青木 健一・観世 淳夫

- 公演終了後、出演者とのアフターパーティーを能楽堂前通路にて開催いたします(人数限定)。料金1,500円ドリンク券付。申し込みはセルリアンタワー能楽堂にて。
 - 9/2(月)19:00より事前講座を開催いたします。料金500円。公演チケットをお持ちの方は無料。詳細はセルリアンタワー能楽堂HPにてご確認ください。
 - 都合により公演の一部(出演者・曲目等)を変更する場合がございます。ご了承下さい。
 - お問い合わせ：セルリアンタワー能楽堂 03-3477-6412(平日10:00-18:00、土日祝14:30-17:30)
- 特別協力：金子直樹 協力：友枝雄人(シテ方 喜多流)、成田達志(小鼓方 幸流)

チケット料金(税込)

S(正面)席 ¥6,500 / A(脇正面)席 ¥5,500
B(中正面)席 ¥4,500 / 学生(座敷)席 ¥3,500

* 学生席は能楽堂のみにて取り扱い。購入の際には学生証の提示をお願いいたします。

チケット申込み

- Bunkamura チケットセンター 03-3477-9999(10:00-17:30)
- オンラインチケット MY Bunkamura <https://my.bunkamura.co.jp/>
- Bunkamura チケットカウンター Bunkamura1F 正面入口右手(10:00-19:00)
- 東急シアターオーブチケットカウンター 渋谷ヒカリエ2F(11:00-19:00)



主催 Bunkamura セルリアンタワー 能楽堂
協賛 一般財団法人 衆我財団

〒150-8512 東京都渋谷区桜丘町26番1号B2F
TEL 03-3477-6412 / FAX 03-3477-0190
<https://www.ceruleantower-noh.com/>